

## 名古屋工業大学の教育理念・目標

本学では、「ものづくり」「ひとづくり」「未来づくり」を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成することを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

この教育理念に従って卒業時に次の専門知識や能力を身に付けることを目標に掲げております。

### （高度工学教育課程）

※生命・応用化学科，物理工学科，電気・機械工学科，情報工学科，社会工学科

- ①人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力と技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観
- ②現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養
- ③国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力
- ④基幹となる専門分野の基盤的な知識・技術とこれによって課題を解決する能力、新たな知識・技術を習得する能力

### （創造工学教育課程）

- ①人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力と技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観
- ②現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養
- ③国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力
- ④基幹となる専門分野の基礎知識と他の分野の知識・技術を関連づけ多面的に見ることで新たな価値を創出する能力

## カリキュラム区分

区 分		考 え 方			
共通科目	①人間社会	技術を考える上で、人間と社会を考えることは重要な要素であり、人間に関連する諸科学と人間が形作る社会に関連する諸科学について、考え方、アプローチの仕方などについて学ぶ能力を涵養する。 また、学習態度や社会との関係、学習方法など、工学の学習を進める上必要な能力を涵養する。			
	②自然科学基礎	工学の基礎としての自然科学を中心に教育するカテゴリーであり、各学科・課程で必要とする授業科目を履修するものとする。			
	③産業・経営リテラシー	専門知識を社会に活用するための能力を涵養するカテゴリーであり、技術者としての社会的責任、経営感覚、産業と技術の関わりを学習する。			
	・ 経営リテラシー	技術者として不可欠な倫理観、経営感覚を涵養する。			
	・ 産業社会	技術と産業社会との関係を理解するための能力を涵養する。			
	④グローバルコミュニケーション	国際社会で技術者・工学者として活躍するためのコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を涵養する。			
⑤健康運動科学	心身両面での社会への適応能力を涵養する。				
専門教育科目	高度工学教育課程	⑥学科共通科目	初学者が各専門分野へ導入され、その概要を理解できるよう専門の基礎として開講する専門科目。		
		⑦基盤科目	それぞれの分野で骨格となる知識を学び、展開科目を学ぶための基盤をつくる専門科目。	⑫自己設計科目	融合的な領域を自律的に組み立てて学ぶ専門科目。
		⑧展開科目	専門分野で選択的に学ぶべき知識、あるいは応用力を養い、研究やものづくりに直結する専門科目。		
		⑨実験・演習科目	専門科目の理論や知識を裏付け理解するための具体的な体験や実験・演習を通じて理解する科目。		
		⑩実践研究セミナー	専門知識を活用し、専門領域で調査、分析、設計等を行なうための方法論を修得し、これらの結果についてのプレゼンテーション、意見交換等によって工学の研究を行う方法を学ぶ。		
		⑪卒業研究	学部教育の集大成とし、自ら課題を設定して、データや情報を得て分析あるいは設計し、考察してまとめ上げる科目。専門領域に関して、何らかのクリエイティブな成果を出すか、あるいは問題点を指摘することが目標である。また、「基礎的な知識力」「論理的思考力」「問題解決力」「自己管理力」「コミュニケーション力」「総合的な表現力」等の評価軸により、卒業研究プロセスの達成度を評価する。		
	創造工学教育課程	⑥工学デザイン科目	工学の知識を要素として社会に活用できる技術や新たな価値を作り出すため、その方法の学習あるいは実践を体得する専門科目。		
		⑦主軸専門科目	13の分野の1つを主軸専門分野とし、その分野で骨格となる知識を体系的に学ぶ専門科目。		
⑧創造工学設計科目		自ら定めた学習目標を実現するために主軸専門科目に加えて学ぶべき知識を選択して学ぶ専門科目。			